

# 欧州や豪州に可能性

## インバウンド推進

### 観光庁事業で じつくり魅力味わう旅を 萩のコンテンツ

観光庁などの「エンジョイ・マイ・ジャパン・グローバルキャンペーン」の一環で、萩市観光協会では、外国人観光客誘致のためのコンテンツ作りに取り組んでいる。11月30日には、外国人専門の日本の旅行会社「ジャパン・トラベル」(本部=東京)のテリー・ロイド社長がインバウンドの市場動向などを解説した。

エンジョイ・マイ・ジャパン・グローバルキャンペーンは、昨年からのスタート。来年の東京オリンピック開催に向けて、外国人の訪日促進策を実施。特に欧州、北米、豪州の「海外旅行には頻繁に行くが日本を旅行先として認知、意識していない層」をターゲットに「日本が誰もが楽しむことが出来る旅行目的地」だということを目指している。典型的なイメージだけではなく、自然、アウトドア

観光庁などの「エンジョイ・マイ・ジャパン・グローバルキャンペーン」の一環で、萩市観光協会では、外国人観光客誘致のためのコンテンツ作りに取り組んでいる。11月30日には、外国人専門の日本の旅行会社「ジャパン・トラベル」(本部=東京)のテリー・ロイド社長がインバウンドの市場動向などを解説した。

エンジョイ・マイ・ジャパン・グローバルキャンペーンは、昨年からのスタート。来年の東京オリンピック開催に向けて、外国人の訪日促進策を実施。特に欧州、北米、豪州の「海外旅行には頻繁に行くが日本を旅行先として認知、意識していない層」をターゲットに「日本が誰もが楽しむことが出来る旅行目的地」だということを目指している。典型的なイメージだけではなく、自然、アウトドア



〈セミナーで講演するジャパン・トラベルのテリー社長〉

アクティビティ、日本食に留まらない食の魅力、伝統芸術、現代アートなど豊かな日本の観光の魅力をアピールする。東京、京都、大阪といった主要都市だけではなく全国の魅力ある地方も紹介している。

テリー社長らは30日から11月1日まで2泊3日の日程で萩市に滞在。猫寺で知られる雲林寺、八千代酒造、城山窯の萩焼体験、城下町の着物レンタル体験、人力車、お茶体験、笠山ジオガイドツアー、萩ガラス工房見学などを行った。

セミナーには、市内の観光業者や萩市職員ら約20人が参加。テリー社長がインバウンドとは何か、インバウンドの市場動向、訪日外国人の来日理由などを紹介した。テリー氏は来日して30年以上たつ日本通。日本各地を訪れその魅力を知り尽

くしている。テリー氏は「日本は世界で一番大きいデイズニード。どこに行っても見るところがある」と絶賛。人は親切で普通に見える地方のまちでも、町並は綺麗で食事は美味しく、外国人にとっては特別なものだという。長期滞在を求める外国人も多く「今後、リピーターはだんだん日本の別荘を探すと思う。日本の田舎は土地も安く、古民家を探すが、外国では流行っている」として日本の古い家など価値

が上がりつつある可能性を示唆した。

萩市など地方都市を訪れる可能性があるのは、欧州や豪州の外国人だという。中国人などは買い物を中心となり都市部に行く傾向がある。フランス、ドイツ、スペイン、オーストラリアなどの外国人は、予算をかけてじっくり日本を旅する。人とのふれ合いや食事、体験などを重視。ジオパーク体験でも、2、3日をかけアウトドア体験なども交えて楽しむ傾向がある。コンテンツ

に魅力があれば、それを目的に遠い地方都市でも訪れるという。萩市の観光スポットとしては、雲林寺の猫体験を絶賛。萩焼や着物などの体験も観光客に人気が出る可能性があるという。

萩市観光協会では、申し込み期限は12月13日。問い合わせは萩市観光協会(25・1750)まで。

外国人が体験可能なプログラムも募集している。定期的に実施し、海外からの予約に対応できることなどが条件。

「はじめに、老人と海」から切り出し、「イージス・アショア」とは何か、「住民の会の活動」署名行動く七夕の誓い、「イージス・アショア」配備計画は撤回せよ、「むつみには水の番人がある」、「現状報告」防衛省中国四国防衛局への申し入れ」など説明「おわりに」香水の陣」で締めくくっている。

## 森上氏ら本を出版

派 対反 イージス  
「萩からの報告」を担当

「イージス・アショア」を張る6名が、イージス配備計画の撤回を求め、住民の会の森上雅昭代表が執筆陣に加わった本「イージス・アショアの争点」が11月20日、緑風出版から発行された。

イージス反対の論陣「イージス・アショア」を張る6名が、イージス配備計画と軍縮の必要性、電磁波の問題、安倍政権との関連、配備候補地となっている秋田県秋田市新屋と山口県萩市からの報告などを担当している。

森上氏は第七章の「イージス・アショア」を執筆している。本は前284ページ、定価2000円(税別)。問い合わせは森上氏(090・11338・184)まで。

「イージス・アショアの争点」が11月20日、緑風出版から発行された。

イージス反対の論陣「イージス・アショア」を張る6名が、イージス配備計画と軍縮の必要性、電磁波の問題、安倍政権との関連、配備候補地となっている秋田県秋田市新屋と山口県萩市からの報告などを担当している。

森上氏は第七章の「イージス・アショア」を執筆している。本は前284ページ、定価2000円(税別)。問い合わせは森上氏(090・11338・184)まで。



イージス・アショアの争点

詳細に分析批判! 安倍政治を追及する!

〈写真: 森上氏も執筆陣に入っている「イージス・アショアの争点」〉